

報 道 発 表

令和 2 年 2 月 1 2 日

門 司 税 関

覚醒剤の摘発件数・押収量が過去最高を記録！！

- ・ 1 回の押収量として過去最高となる洋上取引による覚醒剤約 587kg の密輸入事件を摘発
- ・ 福岡空港の覚醒剤摘発件数が過去最高を記録

～ 令和元年の門司税関における関税法違反事件の摘発状況等について ～

令和元年（平成 31 年 1 月から令和元年 12 月まで）に門司税関管内の空港や港湾等において、不正薬物の密輸入その他の関税法違反事件を取り締まった実績をまとめましたのでお知らせします。

1 不正薬物事犯

不正薬物*¹全体の摘発件数は 24 件（前年比 41%増）、押収量*²は約 604kg（前年比 5.3 倍）であり、特に、押収量は前年の約 113kg を大幅に上回る大量摘発となり、依然として我が国への不正薬物の流入は極めて深刻な状況となっている。

* 1 覚醒剤、大麻、あへん、麻薬、向精神薬及び指定薬物をいう。* 2 錠剤型薬物を除く。

覚醒剤

- 摘発件数は 13 件（前年比 30%増）、押収量は約 604kg（前年比約 5.3 倍）となり、摘発件数が増加、押収量は激増し、摘発件数・押収量ともに過去最高を記録した。
- 押収した覚醒剤は、薬物乱用者の通常使用量で約 2,014 万回分、末端価格にして約 362 億円に相当する。
- 1 回の押収量として門司税関で過去最高かつ全国で第 3 位となる洋上取引による覚醒剤約 587kg の密輸入事件を摘発した。
- 福岡空港における覚醒剤の年間摘発件数（8 件）は過去最高を記録した。
- 密輸形態別は、航空機旅客等の摘発件数が全体の約 6 割を占めた。（P.7 資料 2-1 参照）
- 仕出地別は、摘発件数ではアジアが全体の 85%を占め、押収量では不明が 97%を占めた。なお、前述の洋上取引事件の仕出地が不明のため、押収量の大部分を占めた。（P.8 資料 2-2 参照）

大麻

- 大麻の摘発件数は 10 件（前年比 2.5 倍）、押収量は約 173 g（前年比 67%減）となり、件数は増加したものの、押収量は減少し、小口化の傾向が見られた。
- 大麻のうち、大麻樹脂等（大麻ペースト等の大麻製品を含む。）は、摘発件数は 6 件（前年比 6 倍）、押収量は約 161 g（前年比約 8 倍）と大幅に増加した。
- 大麻の密輸形態別の摘発件数は、航空機旅客 4 件、国際郵便 4 件、商業貨物 1 件、船員等 1 件であった。（P.8 資料 3-1 参照）
- 大麻樹脂等の仕出地別の摘発件数及び押収量は、アメリカが大部分を占めた。（P.9 資料 3-3 参照）

麻薬

- 麻薬は MDMA の摘発のみであり、その摘発件数は 2 件（前年比 2 倍）、押収量は 33.46 g（前年比約 66 倍）及び 10,034 錠（前年比全増）となり、特に押収量が大幅に増加した。
- 1 回の押収量として門司税関で過去第 2 位となるフランス来航空機旅客による MDMA 10,034 錠等の密輸入事件を摘発した。

2 不正薬物等（銃砲等含む）に係る摘発状況
物件別摘発件数及び押収量

種類	年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	前年比
		件	3	4	1	10	13
覚醒剤	g	1,587.68	103,780.53	微量	113,401.97	604,118.35	533%
大麻	件	5	4	4	4	10	250%
	g	612.57	234.69	231.07	521.76	173.42	33%
大麻草	件	-	3	3	3	5	167%
	g	-	234.65	5.07	501.84	12.04	2%
大麻樹脂等	件	5	1	2	1	6	600%
	g	612.57	0.04	226.00	19.92	161.38	810%
麻薬	件	6	4	1	3	2	67%
	g	200.11	8.24	3.01	0.51	33.46	66倍
	錠	-	934	-	-	10,034	全増
ヘロイン	件	-	-	-	-	-	-
	g	-	-	-	-	-	-
コカイン	件	-	-	-	-	-	-
	g	-	-	-	-	-	-
MDMA等	件	-	2	-	1	2	200%
	g	-	-	-	0.31	33.46	108倍
	錠	-	934	-	-	10,034	全増
ケタミン	件	-	-	-	-	-	-
	g	-	-	-	-	-	-
その他麻薬	件	6	2	1	2	-	-
	g	200.11	8.24	3.01	0.20	-	-
	錠	-	-	-	-	-	-
向精神薬	件	-	-	-	-	-	-
	g	-	-	-	-	-	-
	錠	-	-	-	-	-	-
指定薬物	件	41	7	6	1	-	-
	g	801.57	130.50	629.86	4.81	-	-
その他	件	-	1	-	-	-	-
合計	件	55	20	12	17	24	141%
	g	3,201.93	104,153.96	863.94	113,929.05	604,325.23	530%
	錠	-	934	-	-	10,034	全増
銃砲	件	1	-	1	-	-	-
	丁	1	-	1	-	-	-
うち拳銃	件	1	-	-	-	-	-
	丁	1	-	-	-	-	-
実包	件	2	1	-	1	2	200%
	点	6	6	-	1	2	200%

- (注) 1. 当関が摘発した密輸入事犯のほか、警察等他機関が摘発した事件で、当関が関与した事件を含む。
2. 覚醒剤は、覚醒剤及び覚せい剤原料の合計を示す。
3. 大麻樹脂等は、大麻樹脂のほか、大麻ペースト・大麻菓子等の大麻製品の合計を示す。
4. 指定薬物については、平成27年4月以降の実績を計上。
5. 平成29年において1事件で大麻草と大麻樹脂等を押収した事案があるので大麻の合計件数と内訳件数は一致しない。
6. 平成30年において1事件で覚醒剤とその他麻薬を押収した事案があるので合計摘発件数と薬種別件数の合計は一致しない。
7. 令和元年において1事件で大麻草と大麻樹脂等を押収した事案があるので大麻の合計件数と内訳件数は一致しない。
また、1事件で大麻草と麻薬（MDMA）を押収した事案があるので合計摘発件数と薬種別件数の合計は一致しない。
8. 実包は、拳銃用実包以外の実包も含む。
9. 令和元年の数値は速報値である。

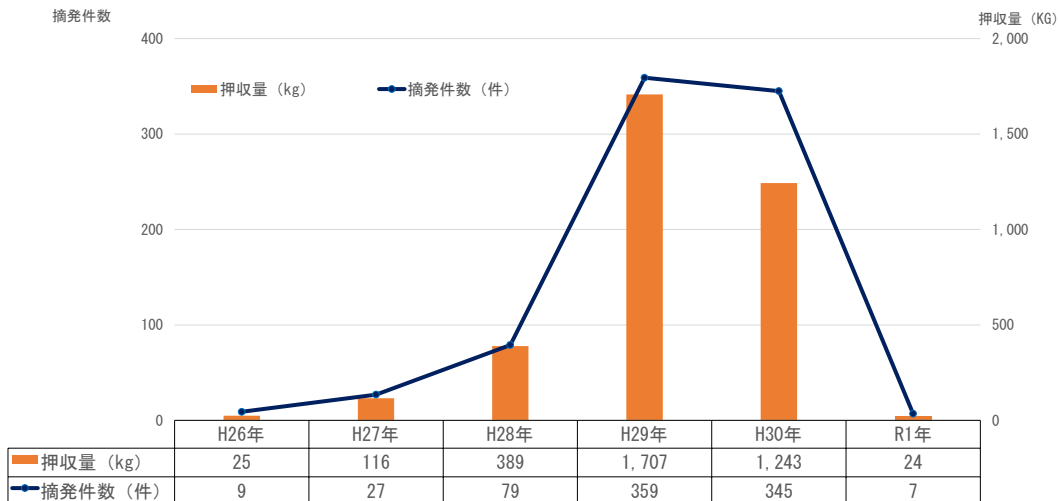
3 不正薬物等（銃砲等含む）以外

- マレーシア来航空機旅客による偽造クレジットカード等の原料となるべきカード 750 枚の密輸入事件を告発した。
- スリランカ向け盗難中古重機不正輸出事件（偽った書類（仕入書）の提出による輸出）を告発した。
- 中華人民共和国からの国際スピード郵便物等を利用した商標権を侵害するハンドバッグ 47 点の密輸入事件を告発した。
- フィリピン来航空機旅客による動物の肉約 91.9 k g の密輸入事件を告発した。

4 金地金の密輸入事犯

- 金地金*³密輸入事犯の摘発件数は 7 件（前年比 98%減）、押収量は約 24kg（前年比 98%減）と、摘発件数・押収量ともに大幅に減少した。*³ 金地金には、金塊に加えて一部加工された金製品を含む。
- 平成 30 年 12 月以降は摘発がなかったところ、令和元年 10 月の消費税率引き上げ後から 7 件の摘発があり、増加傾向が見られる。
- 密輸形態はすべて航空機旅客であり、また仕出地はすべて韓国であった。

門司管内における金地金密輸事犯の摘発件数と押収量



(注) 平成 30 年、令和元年の数値は速報値

5 摘発事例

覚醒剤

〔事例 1〕 洋上取引（1 回の押収量として門司税関で過去最高かつ全国で第 3 位）

東シナ海において洋上取引された覚醒剤約 587 k g を熊本県天草市の魚貫港^{おにき}において摘発

（令和元年 12 月・門司本関）



〔事例2〕航空貨物

イラン・イスラム共和国から到着した航空貨物（自動車用触媒）に隠匿された覚醒剤約6.4k gを摘発

（令和元年10月・門司本関、福岡空港）



〔事例3〕福岡市内宛て国際郵便物から3件連続摘発

① アメリカ合衆国からの国際スピード郵便物内の衣類に隠匿していた覚醒剤約2k gを摘発

（平成31年3月・福岡外郵便）



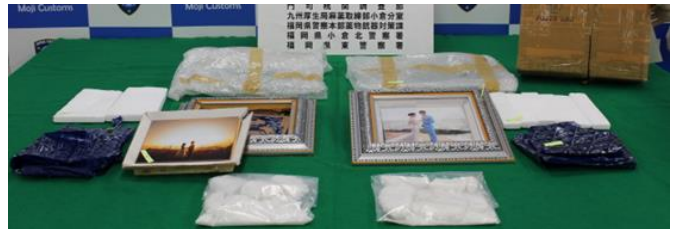
② タイ王国からの国際スピード郵便物内のカップラーメンの調味料に偽装して隠匿していた覚醒剤約1.4k gを摘発

（平成31年4月・福岡外郵便）



③ ラオス人民民主共和国からの国際スピード郵便物内の額縁に隠匿していた覚醒剤約1.6k gを摘発

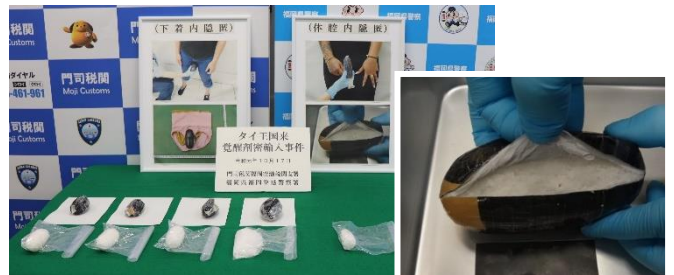
（平成31年4月・福岡外郵便）



〔事例4〕航空機旅客一挙6名の摘発

タイ王国から福岡空港に到着したタイ人女性6名が各人1包を体腔内または股に隠匿していた覚醒剤合計約1.2k g（6包）を摘発

（令和元年9月・福岡空港）



大麻

〔事例5〕国際郵便

アメリカ合衆国からの国際航空小包郵便物に隠匿した大麻製品（大麻ペースト）23.12gを摘発

（令和元年8月・福岡外郵便）



〔事例6〕 航空機旅客

アメリカ合衆国から大韓民国を經由して福岡空港に到着した日本人男性が体内に飲み込んで隠匿していた**液状の大麻約 85 g**を摘発

(令和元年 11 月・福岡空港)



麻薬

〔事例7〕 航空機旅客

フランス共和国から大韓民国を經由して福岡空港に到着したアメリカ人男性がスーツケース底部を二重工作して隠匿していた麻薬である**MDMA 10,034錠及び破砕片等 33.08 g**を摘発

(令和元年 12 月・福岡空港)



個別の錠剤画像は数種類あったものの一部を掲載

金地金

〔事例8〕 航空機旅客 **消費税率引き上げ後の初日に全国で初の摘発**

大韓民国から福岡空港に到着した韓国人男性が空港備え付けの手荷物カートを加工して隠匿していた**金塊 21個及び金塊片 2個 (合計約 9.5kg)**を摘発

(令和元年 10 月 1 日、福岡空港)



その他の事犯

〔事例9〕 航空機旅客

マレーシアからタイ王国を經由して福岡空港に航空機旅客の手荷物として偽造クレジットカード等の原料となるべき**カード 750枚**を密輸入しようとした台湾人男性を告発

(平成 31 年 2 月・福岡空港)



〔事例 10〕 商業貨物

博多税関支署長に偽った書類（仕入書）を提出してスリランカ民主社会主義共和国向けに盗難品である中古重機2台を不正に輸出した日本人男性1名及びスリランカ人男性2名並びに法人1社を告発
（令和元年6月・本関）



（※画像は同型のもの）

〔事例 11〕 国際郵便


中華人民共和国から国際スピード郵便物及び航空小口急送貨物により商標権を侵害するハンドバッグ計47点を密輸入しようとした日本人男性を関税法違反で告発
（令和元年8月・本関）



〔事例 12〕 航空機旅客

フィリピン共和国から福岡空港に航空機旅客の手荷物として偶蹄類を含む動物を原料とするソーセージ約83.7kg、偶蹄類の動物の肉約8.2kgを密輸入しようとした日本人男性2名を関税法違反で告発
（令和元年8月・福岡空港）



	問合せ先 門司税関 税関広報広聴室 TEL 050-3530-8333
---	--

(資料1) 門司税関における不正薬物の密輸形態別摘発件数

(件)

形態別	年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	前年比	構成比
航空機旅客による密輸入		3	4	3	9	13	144%	54%
国際郵便物を利用した密輸入		50	13	8	7	7	100%	29%
商業貨物を利用した密輸入		-	-	-	1	2	200%	8%
	航空貨物	-	-	-	-	2	全増	8%
	海上貨物	-	-	-	1	-	全減	-
船員等による密輸入		2	3	1	-	2	全増	8%
合計		55	20	12	17	24	141%	100%

(注1) 航空機旅客には、航空機乗組員を含み、船員等には、洋上取引、船舶旅客を含む。また、商業貨物には、別送品を含む。

(注2) 小数点以下は四捨五入しているため、合計が合わないことがある。

(注3) 「0」は0.5未満を示し、「-」は全く無いことを示す。

(資料2-1) 門司税関における覚醒剤の密輸形態別摘発実績

(上段：件数、下段：g)

形態別	年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	前年比	構成比
航空機旅客による密輸入		3	2	-	6	8	133%	61%
		1,588	2,815	-	11,930	6,203	52%	1%
国際郵便物を利用した密輸入		-	-	-	3	3	100%	23%
		-	-	-	973	4,975	511%	1%
商業貨物を利用した密輸入		-	-	-	1	1	100%	8%
	航空貨物	-	-	-	-	1	全増	8%
		-	-	-	-	6,396	全増	1%
海上貨物	-	-	-	1	-	全減	-	
		-	-	-	100,499	-	全減	-
船員等による密輸入		-	2	1	-	1	全増	8%
		-	100,966	0	-	586,544	全増	97%
合計		3	4	1	10	13	130%	100%
		1,588	103,781	0	113,402	604,118	533%	100%

(注1) 航空機旅客には、航空機乗組員を含み、船員等には、洋上取引、船舶旅客を含む。また、商業貨物には、別送品を含む。

(注2) 小数点以下は四捨五入しているため、合計が合わないことがある。

(注3) 「0」は0.5未満を示し、「-」は全く無いことを示す。

(資料2-2) 門司税関における覚醒剤の仕出地別摘発実績

(上段：件、下段：g)

仕出地	年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	構成比
アジア		3	3	-	8	11	85%
		1,588	100,970	-	113,386	15,586	3%
	中国	-	1	-	1	-	-
		-	99,906	-	100,499	-	-
	台湾	-	1	-	3	-	-
		-	4	-	4,911	-	-
	韓国	-	1	-	2	-	-
		-	1,060	-	4,517	-	-
	カンボジア	-	-	-	1	-	-
		-	-	-	2,263	-	-
タイ	3	-	-	1	7	54%	
	1,588	-	-	1,196	2,640	0%	
マレーシア	-	-	-	-	2	15%	
	-	-	-	-	4,977	1%	
ラオス	-	-	-	-	1	8%	
	-	-	-	-	1,574	0%	
イラン	-	-	-	-	1	8%	
	-	-	-	-	6,396	1%	
アメリカ	-	-	-	2	1	8%	
	-	-	-	16	1,988	0%	
スペイン	-	1	-	-	-	-	
	-	2,811	-	-	-	-	
不明	-	-	1	-	1	8%	
	-	-	0	-	586,544	97%	
合計	3	4	1	10	13	100%	
	1,588	103,781	0	113,402	604,118	100%	

(注1) 小数点以下は四捨五入しているため、合計が合わないことがある。

(注2) 「0」は0.5未満を示し、「-」は全く無いことを示す。

(資料3-1) 門司税関における大麻の密輸形態別摘発実績

(上段：件数、下段：g)

形態別	年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	前年同期比	構成比
航空機旅客による密輸入		1	-	2	-	4	全増	40%
		234	-	2	-	92	全増	53%
国際郵便物を利用した密輸入		3	4	2	4	4	100%	40%
		378	235	229	522	73	14%	42%
商業貨物を利用した密輸入		-	-	-	-	1	全増	10%
		-	-	-	-	3	全増	2%
航空貨物		-	-	-	-	1	全増	10%
		-	-	-	-	3	全増	2%
海上貨物		-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
船員等による密輸入		1	-	-	-	1	全増	10%
		0	-	-	-	6	全増	4%
合計		5	4	4	4	10	250%	100%
		613	235	231	522	173	33%	100%

(注1) 航空機旅客には、航空機乗組員を含み、船員等には、洋上取引、船舶旅客を含む。また、商業貨物には、別送品を含む。

(注2) 小数点以下は四捨五入しているため、合計が合わないことがある。

(注3) 「0」は0.5未満を示し、「-」は全く無いことを示す。

(資料3-2) 門司税関における大麻草の仕出地別摘発実績

(上段:件数、下段:g)

年 仕出地	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	構成比	
アジア	-	1	1	-	3	60%	
	-	216	0	-	7	55%	
	タイ	-	-	-	-	2	40%
	-	-	-	-	6	53%	
	バングラデシュ	-	1	-	-	-	-
	-	216	-	-	-	-	
フィリピン	-	-	-	-	1	20%	
-	-	-	-	-	0	2%	
ネパール	-	-	1	-	-	-	
-	-	-	0	-	-	-	
アメリカ	-	1	2	1	1	20%	
-	-	14	5	0	0	0%	
欧州	-	1	-	2	-	-	
	-	5	-	502	-	-	
	ドイツ	-	1	-	-	-	-
	-	5	-	-	-	-	
	ハンガリー	-	-	-	1	-	-
-	-	-	0	-	-		
ベルギー	-	-	-	1	-	-	
-	-	-	502	-	-		
中南米	-	-	-	-	1	20%	
	-	-	-	-	5	45%	
メキシコ	-	-	-	-	1	20%	
-	-	-	-	5	45%		
合計	-	3	3	3	5	100%	
-	-	235	5	502	12	100%	

(注1) 小数点以下は四捨五入しているため、合計が合わないことがある。

(注2) 「0」は0.5未満を示し、「-」は全く無いことを示す。

(資料3-3) 門司税関における大麻樹脂等の仕出地別摘発実績

(上段:件、下段:g)

年 仕出地	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	構成比
アジア	3	-	-	-	-	-
	253	-	-	-	-	-
	インド	1	-	-	-	-
	19	-	-	-	-	-
ネパール	2	-	-	-	-	-
234	-	-	-	-	-	
アメリカ	2	-	2	-	5	83%
359	-	226	-	160	99%	
欧州	-	-	-	1	-	-
	-	-	-	20	-	-
オランダ	-	-	-	1	-	-
-	-	-	20	-	-	
中南米	-	1	-	-	1	17%
	-	0	-	-	1	1%
	グアテマラ	-	1	-	-	-
	-	0	-	-	-	-
メキシコ	-	-	-	-	1	17%
-	-	-	-	1	1%	
合計	5	1	2	1	6	100%
613	0	226	20	161	100%	

(注1) 小数点以下は四捨五入しているため、合計が合わないことがある。

(注2) 「0」は0.5未満を示し、「-」は全く無いことを示す。